

第42号機関紙発行に際して

同窓会会長 大嶋 裕



横浜商科大学同窓会会員ならびにご家族の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げますとともに、日頃より同窓会へのご支援、ご協力に対して心より御礼申し上げます。

機関紙も発刊以来42号を数えております。「継続は力なり」ともいわれますが、寄稿して戴いた方々のご協力、機関紙を手にして読んでいただく会員の皆様があつてのこととございます。機関紙に関するお問い合わせ、ご提案、また、会員諸氏の近況等がございましたら同窓会事務局へご連絡をお願いいたします。

さて、今年は大学主催の「第3回ホームカミングデー」(隔年開催)が10月26日(土)に開催されます。(当機関紙発送の際に「ご案内」を同封させていただきます。)当日は、本学恒例の「飯山祭」開催の初日もなっておりますので、ご友人等お誘いあわせの上、多数のご来場をお願いいたします。今年のテーマは「STEP UP ～1つ上のステージへ」

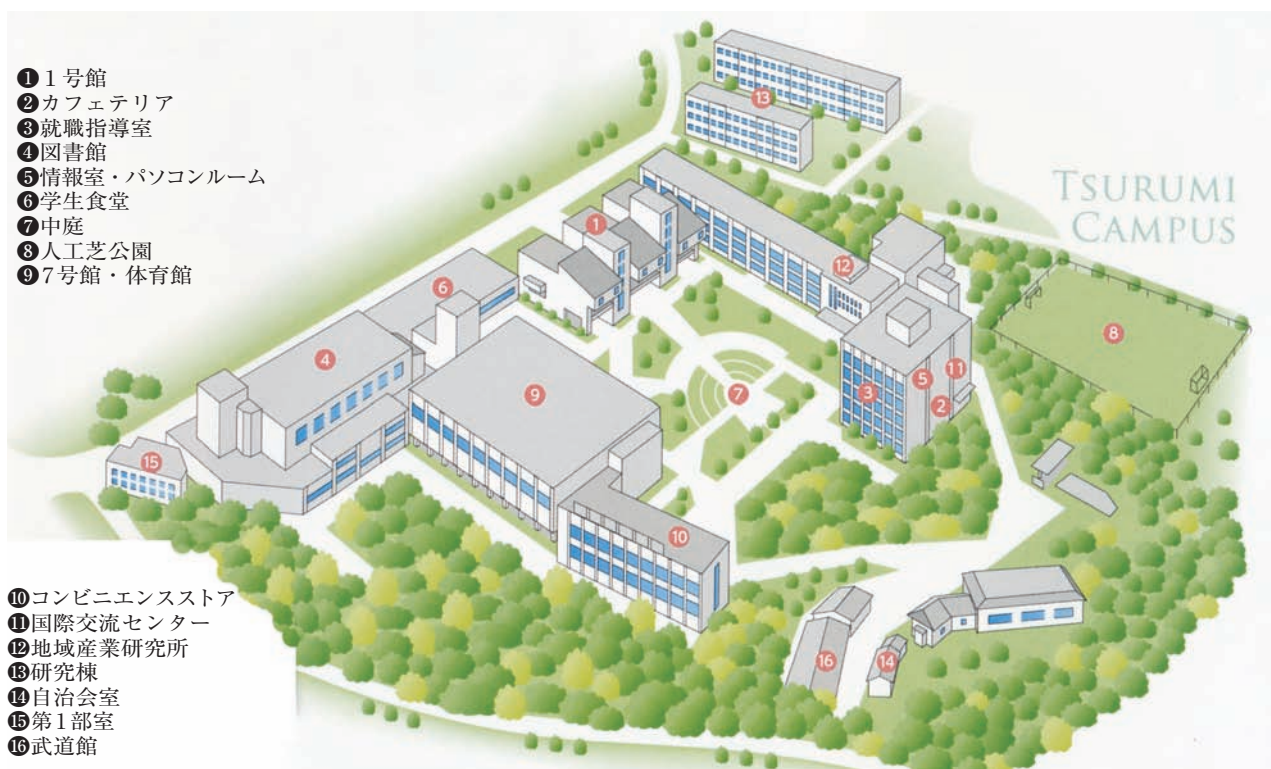
第42号

発行
横浜商科大学
同窓会
Tel 045-583-9031
<http://www.shodai-ob.com/index.html>
印刷
(株)サン・プリンティング
Tel 03-3750-6633

「飯山祭」です。後輩の主催する現在の「飯山祭」を是非ご覧いただきたいと思っています。

また、11月23日(土)は、第38回定期総会を新横浜国際ホテルで開催いたします。今年度の事業報告・決算報告、次年度の事業計画・予算案の審議を行いますので是非ともご出席いただき、ご意見、ご提案をお願いいたします。総会後の懇親会には、教職員、退職された教職員の方々にもご案内を差し上げておりますので、学生時代を顧みて話の花を咲かせていただきたいと思います。

最後にお願ひとなりますが、本学は平成28年に短大開学から「開学50周年」を迎えます。大学ではこの50周年を記念して『50年史』の発行を企画しております。特に草創期の本学に係わる写真や資料等をお持ちの方に、ご協力をお願いしたいと思いますので、同窓会事務局へご連絡をお願いいたします。また、お預かりした大切な資料等は当事務局が責任を持って取り扱い、お返しをいたします。



第37回 横浜商科大学同窓会総会

(平成24年11月17日(土) 於：新横浜国際ホテル)

収支計算書

自 平成23年10月1日
至 平成24年9月30日

収入の部 単位：円

科 目	決算額
I 会費収入	11,180,000
II 事業収入	410,000
III 資産運用収入	27,150
IV 雑収入	0
V 積立金(剰余金)取崩収入	0
当期収入合計(A)	11,617,150
前期繰越収支差額	73,820,539
収入合計(B)	85,437,689

支出の部 単位：円

科 目	決算額
I 事業費	3,192,995
II 準会員支援金	4,866,100
III 組織強化費	3,277,855
IV 管理費	3,288,773
当期支出合計(C)	14,625,723
当期収支差額(A)-(C)	-3,008,573
次期繰越収支差額(B)-(C)	70,811,966

平成24年度収支予算書

自 平成24年10月1日
至 平成25年9月30日

収入の部 単位：円

科 目	予算額
I 会費収入	12,000,000
II 事業収入	640,000
III 資産運用収入	30,000
IV 雑収入	0
V 積立金(剰余金)取崩収入	0
当期収入合計(A)	12,670,000
前期繰越収支差額	70,811,966
収入合計(B)	83,481,966

支出の部 単位：円

科 目	予算額
I 事業費	3,285,000
II 準会員支援金	5,020,000
III 組織強化費	3,600,000
IV 管理費	3,560,000
当期支出合計(C)	15,465,000
当期収支差額(A)-(C)	-2,795,000
次期繰越収支差額(B)-(C)	68,016,966



支部長会議が同窓会総会前に開催されました。

各都道府県支部、運動・研究会関連支部、職域支部の各支部長と本部役員が年一度集い、運営上の問題点、課題等を検討し、活発な意見交換の場となりました。

共通の課題は、同窓会員の支部総会への出席率の向上でした！



正味財産増減計算書

自 平成23年10月1日
至 平成24年9月30日

単位：円

科 目	金 額
I 増加の部	
1. 50周年記念事業積立金	500,000
増加額合計	500,000
II 減少の部	
1. 当期収支差額	3,008,573
減少額合計	3,008,573
当期正味財産増減	-2,508,573
前期繰越正味財産	83,820,539
期末正味財産合計	81,311,966

(平成24年9月30日現在累計額)

注：1. 50周年事業積立金 8,000,000
2. 名簿発行準備金 1,000,000
3. 公報発行積立金 1,500,000
10,500,000

貸借対照表

平成24年9月30日 現在

単位：円

資 産 の 部		負債及び正味財産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1. 現 金	107,829	1. 正味財産	81,311,966
2. 普通預金	9,238,743		
3. 定期預金	71,965,394		
合 計	81,311,966	合 計	81,311,966

平成23年度 事業報告

(自：平成23年10月1日 至：平成24年9月30日)

【事業実績】

平成23年10月22日 大学との定期懇談会開催（秋季）
 10月7日 大学祭（飯山祭）へ支援
 10月27日 第7回全日本剣道オープン大会出場支援
 11月26日 平成22年度定期総会（第36回）開催
 平成24年3月24日 平成23年度学位授与式・記念品贈呈・卒業記念パーティー支援
 4月1日 平成24年度入学記念品贈呈
 5月21日 大学との定期懇談会開催（春季）
 5月25日 同窓会奨学金贈呈（3名）
 6月1日 同窓会会報第40号発行
 6月19日 留学生懇親会支援
 9月22日 平成24年度秋季学位授与式・記念品贈呈
 9月28日 第67回国民体育大会神奈川代表出場支援（クレ射撃）

【支部長会議】

平成23年11月26日 第6回支部長会議開催 本部出席

【役員会】

平成23年10月29日 第99回役員会開催
 平成24年1月28日 第100回役員会開催
 2月25日 第101回役員会開催
 3月31日 第102回役員会開催
 4月28日 第103回役員会開催
 5月26日 第104回役員会開催
 6月23日 第105回役員会開催
 7月28日 第106回役員会開催
 9月22日 第107回役員会開催

平成24年度 事業計画

(自：平成24年10月1日 至：平成25年9月30日)

1. 定期総会の開催
2. 機関紙の発行（年1回）
3. 支部設立の推進（特に都道府県単位支部）
4. 本部・支部及び各支部間の連携強化
5. 名簿管理の充実
6. 収支改善の検討
7. 本部総会、各支部総会の会員出席率の向上

支部及び支部長一覧

都道府県支部

広島支部	支部長	風呂 実雄	（第10期）
関西支部		林 永年	（第10期）
福島支部		片野 博	（第5期）
静岡支部		山崎 成	（第4期）
新潟支部		田村 昭雄	（第3期）
群馬支部		鈴木 清照	（第8期）
宮城支部		小松 智	（第8期）
四国支部		宇都宮吉彦	（第11期）
長野支部		春日 健三	（第3期）
韓国支部	Cha Byoung Huen		（第20期）

運動・研究会関連支部

剣道部支部	柴崎 雅治	（第19期）
ハンドボール部支部	滝上 徹	（第5期）
経営実践支部	佐藤 哲郎	（第28期）
経営情報システム研究支部	滝口 猛	（第10期）
飯山会支部	榎田 悠一	（第1期）
マーケティング研究会支部	小林 正明	（第1期）

職域支部

観光産業支部	杉原 一光	（第2期）
教員支部	和内 広行	（第18期）
会計人会支部	高崎 洋一	（第28期）
不動産支部	金沢 亨	（第14期）



平成24年11月17日新横浜国際ホテルにて第37回同窓会総会・懇親会が開催されました。

定期総会では23年度事業・決算報告・24年度事業計画・予算案について審議し承認されました。尚、会長1名・会計監査2名の任期満了に伴う改選については、審議の結果留任となりました。ご協力ありがとうございました。

その後の懇親会では、会員・教職員・現役学生（同窓会奨学生・剣道部員）など約100名の出席者があり、恩師・先輩・後輩・同僚との再会で会場は終始にぎやかでした。

未来の大学

横浜商科大学管理部部长 貫洞 玲子

8月に同窓会の方からお電話をいただいた。「未来の大学」について原稿を書いてほしいとのことだった。4月にお仲間に入れていただいたばかりの私などに原稿が書けるわけがない。しかし、いつもお世話になっている同窓会の方からのご依頼をお断りするわけにはいかない。そこで、この機会に、学内の者にしかわからないこと、すなわち理事長・学長自らが先陣を切つて、いかに今、未来を切り拓くために力を尽されているのかを、まずはお伝えせねばと思い直した。

というのも、私は故加藤寛慶應義塾大学名誉教授の研究室にいたご縁で、これまでいくつかの大学の改革に関わらせていただいたが、理事長や理事の方々がこんな身を粉にして働いておられる大学を見たことがない。私心もなく、ひたすら大学が直面している問題に真摯に向き合い、解決の糸口を模索され、実行に移そうとされているお姿に感銘

さえ覚えてしまう。最近では、私たち職員も頑張らねばとお互いに声を掛け合うほどになり、不思議と活力が沸いてくるようになった。この夏も、専任職員全員の協力のもとに、大きな懸案の二つを、集中作業をして片づけることができた。本学の広報・入試部長がよく「ピンチはチャンス」という言葉を口にされるが、まさに今をチャンスとして発想の転換ができるかどうか勝負なのかもしれない。

さて、本題に戻るが、「未来の大学」というテーマをいただいたときに、最初に思い出したのが「君たちは未来からの留学生」という故加藤寛先生の言葉であった。

「学生は未来の社会に帰っていくのだから、過去の知識を教え込むだけでは未来の役に立たない。未来で出くわす問題を一緒に考え励ましてくれるのは、未来の仲間達であり、彼らと交わり、相互に情報を交換し、知識を学んでいくためには、コミュニケーション

ションのスキルがいる。いかに自分を表現してコミュニケーションションを実現できるかが基礎である。」そしてこの「学びあうための仕掛け」を作るのが重要だという話につながっていくのである。

すなわち「未来の大学」を創るためには、この「学びあうための仕掛け」が必要ということになる。幸い、本学は少人数教育の取り組みが容易でありその仕掛けが作りやすい。

教育体制プロジェクト委員会が昨年すばらしい答申を提出されたと学長から伺っていたが、その答申の中にも小規模大学の強みを生かし、学生にきめ細かく対応することが提案されている。

すでに今年の4月から、1年生に向けた英語教育での少人数教育が実現されており、「学びあうための仕掛け」の場を提供するインフラとしても、チャージミングなアクティブラーニングの教室が用意されている。

学生が学びたくなる・行動したくなる大学をつくろうと

中心に今改革が進められているのが、私にも実感できる。さきほどの答申には控えめに書かれていたが、こういう教育を提供することにより「入学後、生徒を伸ばしてくれる大学 日本一」を目指すのではないだろうか。

また、なぜ今改めて「商科大学」なのかと考えたときに、福沢諭吉の『学問のすゝめ』がヒントとなるのではないかと思うに至った。この本は「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らずといえり」という有名な言葉が始まるのだが、その続きには、学問を修めたい人間は愚昧なままでもどまると書かれている。ではどんな学問を修めれば良いかというところ、それは「実学」であると宣言されているのである。

この「実学」を提供できるところが商科大学の強みである。

新しい時代に対応できる新しい商科大学を構築するためには、時代に対応した実学が必要とされているということになるが、その時代の要望に応えるために、前述したように今年からすでに様々な取り組みが始まっている。本学で

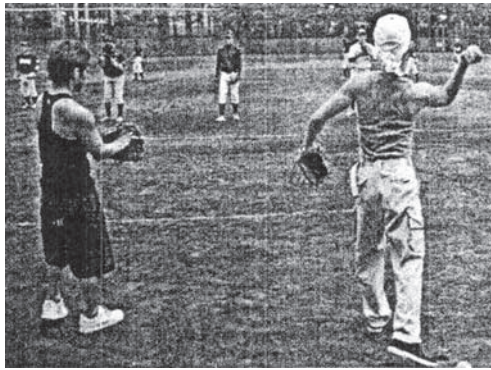
未来に必要なコミュニケーション能力を身につければ、怖いものなしといった言い過ぎであらうか。

本学の建学の精神は、「安んじて事を託さるゝ人となれ」という松本武雄初代学長のお言葉であるが、そのお言葉通りに、こういう能力を身につけた学生を世に送ることが本学のミッションといえるのではないか。

もちろん「未来の大学」を創り上げていけるかどうかは、私たち教職員にもかかっている。そう考えると、職員の三分の一ほどが、大学のOB・OGであり、いつも大きな力を発揮してくれるので、心強い限りである。

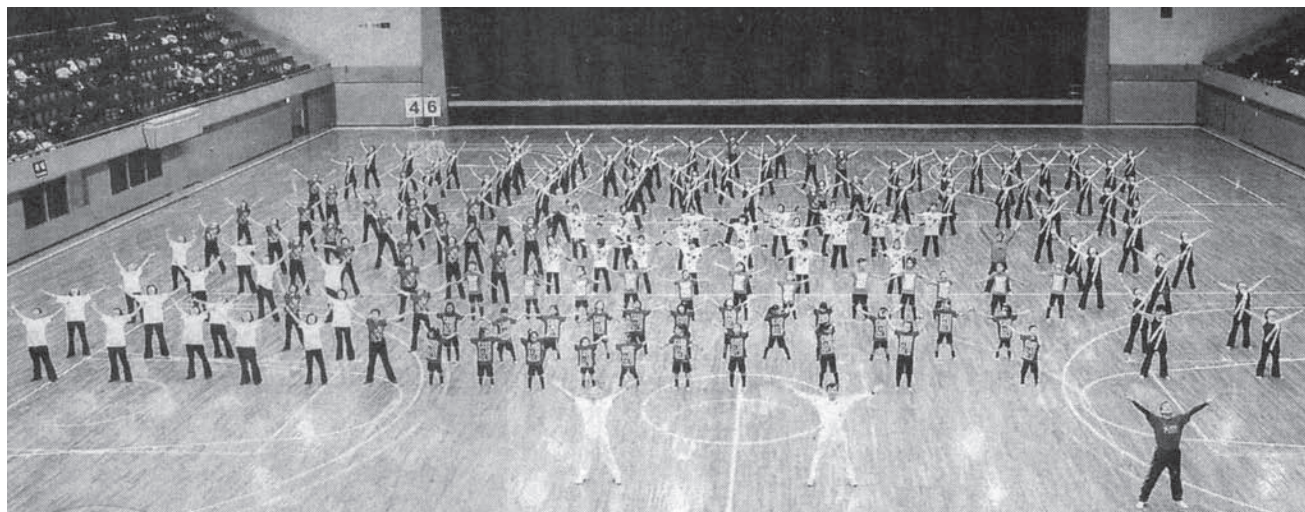
横浜商科大学は、創立50周年に向け、これから様々な活動が始まるが、同窓会の大嶋会長が50周年募金委員会の委員長に就任してくださったとうかがった。「未来の大学」は同窓会の方々のお力なくしては創れない。引き続き、本学を支えていただき、ともに「未来の大学」を創っていければと願っている。

神奈川新聞2013年6月25日掲載
スポーツ報知掲載2013年6月25日
日刊スポーツ掲載2013年6月24日



やり直しを誓った少年たちとスタッフら10人が参加、80人の部員と白球を追いかけ、爽快なひとときを過ごした。
佐々木正雄監督は練習後「さりげなく続けよう、変な同情は捨て、思いを正しい方向に持っていこう」と今後も支援を続けていく考えを語っていた。

NPO法人・セカンドチャンス
（少年院出院者を支援するグループSC）との交流회가6月23日みどりキャンパスグラウンドでおこなわれた。



ラジオ体操で深まる絆

～横浜文化体育館で～

鈴木英夫 横浜商大教授 仮設住宅巡回を支援

2011年、鈴木英夫 体操フェスティバルヨコハマ実行委員長はフェスティバル参加費の一部を東日本大震災の義援金として、CDなど機材とともに被災地へ届けた。

その返礼に訪れた仙台の代表とともに、2012年のフェスティバルは、ラジオ体操を通して被災地とのつながりを深めた。

かながわスポーツ 2013年3月27日掲載

学生と地域を結びつける大学

―横浜商科大学の魅力―

現在、横浜商科大学では、商学部・佐々徹教授が中心になって「大学の地域貢献事業」として2つの公開講座に力を入れている。

その1つが商大と野毛地区街づくり会によって開催されている社会人と大学生のための公開講座「野毛まちなかキャンパス」である。

「横浜・野毛の商いと文化」を統一テーマとして2007年度より開講されており、2008年度からは横浜市内大学間単位互換制度の対象科目に指定されている。

この講座は今年で7回目を迎えるが、これだけ長く続いていくのは、地域で活躍する卒業生や地元商店街のサポートがあったからこそである。

2つ目は、2009年横浜開港150周年記念事業として商大と横浜中華街「街づくり」団体連合協議会が取り組んだ「中華街まちなかキャン

パス」である。この講座は、横浜開港以来、華僑の人々が育んできた日本とも中国とも異なる独自の文化にスポットを当てて、中華街で生まれ育った人々が中心となり、講義を行っている。地域の人々に支えられながら実体験を通して体系的に中華街文化を学べる講座として定着している。

この2つの講座は、若者たちに座学だけでない実体験を伴った学びを与えることを目的として開講されたものである。

神奈川新聞掲載平成25年7月26日

〈平成25年度 学年暦 後期日程〉

9月24日(火)	後期オリエンテーション
9月28日(土)	後期講義開始
10月14日(月)	講義日(体育の日)
10月23日(水)～29日(火)	大学祭期間(休講期間)
10月26日(土)～27日(日)	飯山祭(10月26日:ホームカミングデー)
11月4日(月)	講義日(振替休日)
11月23日(土)	講義日(勤労感謝の日)
12月24日(火)～1月4日(土)	冬休(12月28日～1月4日:年末年始休暇)
1月18日(土)～19日(日)	大学入試センター試験(休講)
2月4日(火)～10日(月)	後期試験期間(2月3日:授業終了)
3月22日(土)	卒業式
3月26日(水)	次年度オリエンテーション(新入生を除く)

平成24年度 卒業式

卒業生おめでとう、卒業式は1つのステージの終了だが次のステージのスタートです。新たな決意を持って力強く、踏み出してください。「安心して事を託さるゝ人となれ」を念頭に、そして本学校歌にある「ああ人の世の幸いのため頼まるゝものとならばや」これを実行していつて下さい。必ずや皆さん自身の幸せにつながるものと確信しています。柴田悟一学長より祝辞が述べられた。

新会員紹介

経営情報学科卒

額額哲佑

私は横浜商科大学での4年間を通じて「真面目にやる事の成果」と「横浜商科大学で良かった」という事を実感しています。真面目にやる事で

特待生認定や学長賞の受賞といった結果を残す事に繋がりました。その4年間の中での教授や講師の方との関わりのおかげで、システムエンジニアへの興味を持つ事に結びついたりと、今になって考えると「運が良かった」と言えると思います。

もちろん、初めから前向きな姿勢でいた訳ではありませんでした。前向きどころか入学する以前の私は、特に志望動機もなく横浜商科大学を受験しており、「大学卒」の実績さえ取れば良いとは思っていませんでした。「とりあえず卒業」と、投げやりに入学期の事を考えていた部分が大きかったくらいです。しかし、入学後に周りを見ると「授業中の教室移動時に喫煙に行く学生」や「出席

率の悪さ」が目につきます。それを見てみると「自分よりもいい加減な奴もいるんだな」と思ったものです。そんな学生状況だったおかげか、「こういった学生と同じは嫌だな」と感じ、「真面目にやってみよう」と思えるきっかけになりました。

「真面目に」と言っても、「ひたすら机にかじり付く」なんてマネは一切しませんでした（笑）。実際には、当たり前のようにまともに講義に出席し、提出物を出すといった事くらいで、遊ぶ時には遊んでいたと思います。また、講義外での面白い話や為になる話も聞いたので、講義後に先生と話をする事も楽しみでした。そのようにして過ごしていた中で特待生の認定があり、たかが成績くらいで、なんて思いつつも「意外とやってみるもんだな」と嬉しかったものです。また、4年の特待生認定時には、同じ場にいた2年の特待生を「経営情報学科プロセス」に誘い、そこで良い後輩を見つけた事が出来たのも大きな収穫でした。



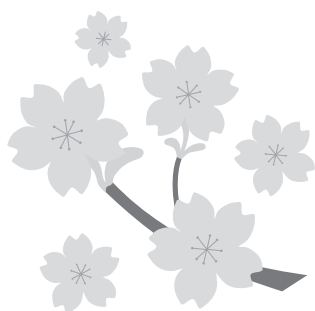
入学式後 特待生・同窓会奨学生との懇談会が行われた

初めは後ろ向きに考えていたものの、こうして思い返してみると、横浜商科大学での4年間は、入学時には想像していなかった展開を迎え、期待以上の収穫があったと思います。それには良くも悪くも周りの環境が大きく左右し、今回は運良く自分とマッチしてくれただけなのかも知れませんが。それでも「真面目にやる事の成果」と「横浜商科大学で良かった」という実感はずいぶん確かなものであり、社会人になる前の最後の学生生活として、一番良い学生時代を過ごせたと感じています。

平成25年度 入学式

平成25年度入学式が4月1日に挙行されました。

商学科145名・貿易観光学科41名・経営情報学科82名、268名の新生が本学の門をくぐりました。



支部だより

マーケティング研究会支部総会

平成24年10月13日
鶴見キャンパス 203教室

長野支部総会

平成24年10月21日
長野・やま本店

関西支部総会

平成24年12月1日
大阪難波・鳥よし本店

剣道部支部総会

平成25年3月16日
千葉・ホテル浪川荘

飯山会支部総会

平成25年5月11日
横浜中華街 大珍楼本店

教員支部総会

平成25年5月17日
キャメロットジャパン

静岡支部総会

平成25年6月9日
静岡グランドホテル中島屋

四国支部総会

平成25年6月15日
愛媛県 料亭「大倉」

群馬支部総会

平成25年7月6日
高崎ワシントンホテルプラザ

マーケティング研究会支部

幹事 永田寛治

平成24年10月13日土曜日に横浜商科大学鶴見校舎にて定期総会を開催いたしました。当支部も設立総会を含め3回目の総会となり、定期的に会を催す流れが出来てきました。今後は、内容を充実させ、より多くの方々に出席していただけるような魅力ある会にしていきたいと思えます。



長野支部

会計 土屋 勝

平成24年10月21日長野市において第2回長野支部総会を開催。当日は、大嶋同窓会長

並びに伊藤商学部長をお招きし、総勢12人での総会となりました。

多くの会員が参加する盛況な支部となるための課題等闊達な意見交換ができ、また本部からのご意見も頂き、少人数ながらも有意義な実りある会議、そして懇親会となりました。今後、長野支部会員の皆様にはますますのご参加をお願いし、長野支部を役員一丸となつて盛り上げて参ります。



関西支部

支部長 林 永年

大嶋会長、柴田学長の参加のもと、第20回関西支部の定期総会を開催した。関西支部

は和田前支部長の時からずっと「12月の第1土曜の午後6時」「鳥よし」ということで定期総会を実施しているので、同窓会員は是非とも「12月の第1土曜の午後6時」「鳥よし」と頭の中に入れ参加して欲しい。今年は1名の新メンバーの参加があったが、若い会員の参加がなくさみしい。

総会開始挨拶の後、総会の議事及び報告事項で、決算・予算、活動報告などがあり全て承認された。今年は会員増強の施策として、「滋賀県の会員に参加を呼びかけよう。」ということになった。これで関西支部は近畿2府4県と少し広くなり、10名ほどの会員増となる。滋賀県にお住まいの会員は遠方になるが、支部発展のためにも是非参加していただきたい。

さて、柴田学長、大嶋会長より少子化や規制緩和による大学新設により入学者定員が増加していることなど大学皆入学時代が到来してきたということだ。その後も、現学内のことをいろいろ教えていただき、学生時代に帰ったよう

な気分になり楽しい一時を過ごすことができた。

第21回支部総会では多くの初参加の会員に会えることを願っている。



飯山会支部

幹事長 植木茂雄

柴田学長・伊藤学部長に、ご臨席を賜り、大雨の中開催しました。女性の出席8名と40数年ぶりの再会を喜ぶ姿に感動しました。

本会の活動として商大在学生との交流の場を設けいろいろな分野で母校を応援しようという事が決まりました。具体案を企画中です。アイデアがあつたら、ご一報下さい。

剣道部支部



本部幹事 山崎 徹也

総会は滞りなく終了し、その後OBと現役学生との練習も兼ねた試合や懇親会等開催され、他の支部総会と異なり多くのOBが集まる中、和氣藹々とした雰囲気により終了した。

教員支部

支部長 和内 広行

今年の教員支部総会は5月17日（金）16:00から横浜駅西口のキャメロットジャパンにおいて下記の議題について、司会を静岡県立小笠原高校の青木先生、議長を群馬県桐生第一高校の茂木先生にお願いし、総勢16名の先生方によって開催されました。

一号議案 平成24年4月1日
～平成25年3月31日までの活動報告

二号議案 平成23年10月1日
～平成24年9月30日までの会計報告

三号議案 平成25年4月1日
～平成26年3月31日までの活動予定

四号議案 平成24年10月1日
～平成25年9月30日までの予算案

慎重な審議の結果、各議題とも無事承認をいただき終えることができました。また、今回新たに二名の先生方に役員に加わっていただきましたので、今後ますます活発に活動していきたいと思えます。



教職研修会報告書

支部長 和内 広行

当日の参加者は以下のとおりでした。

大学側 高橋先生・徳田先生・橘さん・学生19名

教員支部側 篠原先生・渡邊謙二先生・澤先生・八木先生・安藤先生・三宅先生・和内

川商の生徒 12名（模擬授業時に協力していただきました。）

当日の内容は次のとおりです。

今年の教職研修会は大学側教職員3名・学生19名、教員支部7名、川商生徒12名で実施しました。

まず、オリエンテーションに始まり、早速学生には一人1分程度の自己紹介をしていただき、講義「教育実習の心得」受け入れ学校側からの心得として聞いておいていただきたいことがらについてアドバイスをしました。

次の模擬授業では、バドミントン部の部員12名には午前中から登校していただき、より臨場感を出すために教室に座って協力していただきました。2名の学生は実際の高校生の前で、緊張しながらも一生懸命頑張っていました。その後、教員支部の先生方より模擬授業の気がついた点を指導アドバイスをいたしました。午後からは6月に教育実習に行かれた学生4名の報告を受け、教員支部の先生方でアドバイスをを行いました。

「ホームルームの運営について」の講義では、川商でのホームルーム手順（注意点など）の事例をご紹介し、最後に学生を4～5人の班に分け、全員で研修のまとめをしていたいただき、班ごとに発表していただきました。



静岡支部

支部長 山崎 成

今年の静岡支部総会は6月9日に静岡グランドホテル中島屋で行いました。

伊藤商学部長をお招きして「静岡経済のこれから」について講演をしていただきました。例年より人数は少なかったのですが、懇親会においては充実した内容のコミュニケーションができ、大変盛り上がりしました。

その後、二次会へと移り散会しました。

来年は設立15周年の記念総会となりますので、早めに企画を立て今度以上に会員の皆様にご満足頂ける総会を予定しています。



四国支部

支部長 宇都宮 吉彦

今回、四国支部総会は支部長の地元、かつて伊予(愛媛県)の大阪と言われ栄えた八幡浜市で開催した。

柴田悟一学長、宮原義友

元学長御夫婦をお迎えし、草創期の母校の姿と、現況及び将来にわたっての大学のビジョンについてお話を頂き、選ばれる大学として存続していくには、どのような経営努力が必要あるかのお話を聞き、企業経営と共通した感性が必要であることに共感し、又、あくまでも大学の財産は卒業生であるとのお話を聞き、ここに参集した卒業生一同、「信頼され、安心して物を託される人」となるべく努力を継続し続ける事を確認しました。来年支部創立10周年を迎えるにあたり、四国支部より母校への入学者を数名でも募集できないかとの前向きな意見を出され、内容ある総会となりました。総会終了後、宇和海の新鮮な魚料理を囲み、和やかな雰囲気の中で会を終えました。

群馬支部

支部長 鈴木 清照

今年度も例年通り支部総会を7月に開催しました。

毎年、出席者が少ないのですが、回を重ねる毎に1人2人と今まで出席されていなかった方が出席されることは本当に嬉しい事であります。

そして、年に1度お会いして語らうことは有意義なことだと思います。

今年は久々に女性の出席があり、華やかな懇親会となりました。

今回の総会を踏まえ、更なる支部発展に努力していきたいと思います。

今後とも各関係者のご協力とご支援をお願い申し上げます。



平成25年9月以降の

支部活動及び総会予定

不動産支部 9月11日(水)

広島支部 9月14日(土) 中華街「金香楼」

広島駅前「江戸っ子」

経営情報システム研究支部

9月15日(日) 鶴見「ルージン」

新潟支部 9月23日(月)

長岡グランドホテル

宮城支部 9月27日(金)

本塩釜「ビストロ・ミルポア」

ハンドボール部支部

10月6日(日)

渋谷シタックスビレッジクラブ

マーケティング研究支部

10月19日(土) 鶴見キャンパス

不動産支部 11月27日(水)

設立10周年記念 中華街「金香楼」



〈個人情報保護にご理解とご協力をお願いします〉

同窓会事務局では、住所等会員の個人情報は活動の根幹をなす必要不可欠なものと考え、連絡先の把握に努めています。

現在、同窓会の名簿発行をやめ、個人情報はデータベースで管理し、プライバシーポリシーを定めて徹底した保護と適正な運用・管理をしています。尚、同窓会より名簿作成の依頼等、一切行っておりませんので、くれぐれも注意して下さい。

応援しよう 商大を！

第3回ホームカミングデー

10月26日(土)
飯山祭初日詳細は別紙同封のお知らせで
<http://www.shodai.ac.jp>集まろう、
つるみ
キャンパスへ！

〈編集後記〉

7年後のオリンピック・パラリンピック開催が東京に決定し、日本中にひと筋の光がさし込んだような気がします。けれど、被災地に元通りの笑顔を取り戻すことも、デフレの沼から抜け出すことも容易な道ではないということを忘れてはいけません。

そんな中で、この会報が会員の皆さまとの輪を広げる為に少しでもお役に立てればと、一同ますます努力を重ねていく所存です。そして、大学と同窓会は車の両輪です。お互いの活躍こそが相互の発展につながることを確信しております。

そんな思いを共有できる同窓会を実現させたいものです!! 2020年…素晴らしい日本でありたいように…

会報42号発行にあたり、皆様のご協力いただきありがとうございます。

同窓会事務局

横浜商科大学つるみキャンパス内

月・火・木・金 10:00～16:30 勤務

TEL・FAX 045-583-9031

〒230-8577 横浜市鶴見区東寺尾4-11-1

E-Mail : dousou@shodai.ac.jp

ホームページ <http://www.shodai-ob.com/>携帯サイト <http://hp.did.ne.jp/shodai-dousou/>

第38回

同窓会定期総会・懇親会の

ご案内

あの時をもう一度

日時：平成25年11月23日（土） 午後6時より総会
午後7時より懇親会

場所：新横浜国際ホテル（南館）tel 045-473-1311

JR新横浜駅北口徒歩3分

市営地下鉄新横浜駅7番出口徒歩1分

議案：1) 平成24年度事業報告・決算報告
2) 平成25年度事業計画・予算案
3) その他

会費：¥8,000（当日、会場にてお願いします）家族同伴大歓迎

※尚、ご夫婦で卒業生の場合は各々¥8,000、中学生以上は¥2,000となります。

日頃より、同窓会活動にご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。
おかげさまで当会も会員数19,500余名になり、各方面で大活躍されています。

さて、平成24年度定期総会を標記の通り開催いたします。
ご多用中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席下さいますよう、
ご案内申し上げます。

今年卒業された新会員は会費無料！

懇親会には教職員の方も多数出席されます。

※昨年同様、景品等ご提供・寄付を受付けておりますので、ご協力お願いします。

宿泊希望の方は同窓会事務局まで

TEL・FAX：045-583-9031

Email：dousou@shodai.ac.jp

ホームページ：http://www.shodai-ob.com/

※第8回支部長会議は 同日・同ホテルにて 午後3時30分より開催